

市民と市長の意見交換会<両津地区>質疑要旨

日時：令和5年4月22日（土）16:00~17:00 会場：北小浦公民館

参加人数：18名

1. 市政について

市長より説明	<p>(説明内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路の改修について ○両津港の改修について ○防災について ○コロナの状況について ○両津病院の移転について ○人口減少の問題について ○外出支援について ○脱炭素エネルギーについて
--------	---

2. 質疑や意見

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
黒姫	昨年暮れの災害について。毎年のように佐渡のどこかで災害が起きている。そういう事を想定して避難路として林道の整備などをお願いしたい。	林道をどう考えるかだ。生活道路のサブの道路として、いるかいないかというのがまずひとつの判断。もうひとつは、本当に林道として使うのか。本来、林道は林業用に使うことが前提でその用途でない場合、廃止するという定義になっている。実際はしていないが、制度としては廃止することができる。個別林道になるが前回も鷲崎から北小浦を回る時に、県も市も点検に入って通れるようにしてというのもあったので、普段から維持管理はしっかりしなければいけないので、そういうものは必要だと思う。そしてこの林道をどうするかという目的をしっかり決めて、この林道は生活道路として必要だと判断して手続きしていかなければいけない。	農林水産振興課 建設課 防災課
北小浦	光ケーブルについて現在はどういう状況なのか。	光回線は今年の秋頃には佐渡において全線開通する予定。就任してすぐに取り掛かり、去年から工事に入っている。	総務課
北小浦	先ほど、高齢者が出かけるときにバス代の補助金が出るという話が出たがマイクロバスで出かける予定があるがそれも対象になるか。	5月から開始する。マイクロバスを持っているバス・タクシー事業者などが役所に申請して、最大5万円まで、半額補助と聞いている。5月以降の利用で、すでに業者が決まっていればその業者へ補助金申請するよう、ひとこと伝えてあげてほしい。	高齢福祉課
北小浦	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前の道が他の道と比べてひび割れしたり、ひどいので早く直してほしい。 ・林道について先ほど話されていたが、大きな津波が来たら上に逃げるしかない。避難道として名称を変えて、ある程度の整備はしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県道については世界遺産に向けて建設部から改修要望をまとめているので県に要望する。ただすぐにできるかどうかはわからないがしっかり伝える。道路の状況等、詳細は両津支所職員に伝えてほしい。 ・林道に限らず市道や農道も含め、避難道をしっかりとつくて逃げるという事が大事。林道がそこに関わるなら整備しなければいけないが林道から避難道に変更するのは手続きが必要。避難道は生活道路に近い。具体的な道路の名称などを支所に伝えておいてほしい。 	農林水産振興課 防災課 建設課（新潟県佐渡地域振興局）

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
北小浦	災害の際の情報が何もなかった。停電になった時、いつになったら復旧するんだろうと不安だった。高齢者の独り暮らしもいるので、車か何かで来てもらって、復旧予定日等を伝えて回ってほしかった。	冬場や風のあるときなどは車での放送は聞こえないケースが多い。公民館を核にして、紙で情報を置いておく。食料品や油なども置いておく。集落内の元気な人がお年寄りに届けて声掛けをしてもらうなどの仕組みをつくっていききたい。独り暮らしで家から出れない方のお宅には社会福祉協議会と連携して、市の職員が回る予定。情報はここにいけば必ずある、という拠点となる場所をつくりたい。	防災課
黒姫	災害時に行政に頼るのが当たり前ではなく自助努力が大事だと思うので、集落でやれることはやる、加えて市との情報共有も頻繁にやっていきたい。そうでないと若い人が安心して生活できずに離れていく。何かあっても安心して生活できるような、頻繁に市と集落がコミュニケーションできるようなものをつくってほしい。	支所・行政サービスセンターを中心に情報共有できる仕組みは考えなければいけない。集落共有ラインをつくるというのも案だが、使える人と使えない人がいるのも事実なのでそのあたりをまた支所長・センター長中心に考えていく。	両津支所 防災課
北小浦	林道を上がったところに農業用の水路が来ている重要な場所があるが、この間の雨であふれて道路を通過して家の方まであふれていた。そこを何とかしてほしい。以前に集落要望は出している。	集落要望予算は、就任以来増やしながらかやってきた。できるだけ要望は処理していこうという事でやっている。緊急度合いによって順番を決めているので、全部はカバーしきれないが毎年しっかりやっていく。	建設課 農林水産振興課 両津支所
黒姫	自分の親が高齢になって車の運転が心配ではあるが買い物などを考慮すると、免許返納するかどうかの判断が難しい。バスの補助金支援もそうだがちょっと何か考えてほしい。	自動運転とデマンド交通について民間会社と協議をしている。島内の周辺部についてはバスの便が悪いがバス会社も人手不足である。方法は2つあると思っていて、一つは市役所が地域コミュニティ交通をやるか。ただこれはかなりの赤字を抱えるデメリットがある。二つめは民間会社によるデマンド交通である。免許返納は大きな問題だと思っているので何とか考えなければいけないと思っているが新潟交通に頼ってもかなり厳しいと思っている。なので地域交通も支援が必要と思っている。周辺部からバスの運航ルートに繋げるものを考えないといけない。	交通政策課
黒姫	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少について。佐渡市に残って就職する高校生に祝い金などの支援の制度はあるのか。 ・佐渡に残ってくれる宝に対してそういう制度がないのはいかがなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、そのような制度はない。 ・佐渡に残る高校生は毎年70人位だが、お金の問題であるかは疑問である。高校生が佐渡から出る理由の6～7割は進学で、その中の5割程度は専門学校である。その対策として金井地区のNSGに観光学科と公務員学科をつくったが、思うように入学者が増えない。理由としてはどうやら親が「一度、佐渡を出てこい。」と言っているようだ。お金も良いが、今考えているのは佐渡にIT企業がたくさん来ていてそこにプログラミングの研修をやってもらい、無償で受講できるように佐渡にいてもスキルアップできるような支援をしたほうが良いのではとも考えている。IT企業に入りたい場合、今は佐渡でも就職できるのでその事実を若者に伝えることが重要で、その部分を取り組んでいきたい。 	総合政策課
黒姫	北小浦の海洋センターは老朽化が進んでおり、先行き不安を感じている。今年、賃貸借契約が切れることもあり、今後も施設を維持できる方法を考えてほしい。	世界遺産の関係もあり国が今、佐渡を応援してくれているのを感じる。まずは国と議論すること。早めに色々な議論をしたほうが良い。そしてまずは抜本的な計画をつくられたほうが良い。ただし耐震構造に直すのは難しいかもしれない。	財産管理課